

CASBEE Sapporo2014v1.2
北海道大野記念病院

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	竣工段階				重点評価項目					
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄					
	A	B	C	D	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体			
配慮項目					評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.5	
Q1 室内環境						0.40	-	-	3.6	
1 音環境						3.0	0.15	2.6	1.00	2.9
1.1 騒音						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						3.2	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能						5.0	0.40	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能(軽衝撃源)					T-2性能を持ったサッシを採用している	2.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽衝撃源)						-	-	2.0	0.20	
4 界床遮音性能(重衝撃源)						-	-	1.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境						3.1	0.35	3.0	1.00	3.1
2.1 室温制御						3.3	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能	A					3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性					ゾーン別に暖房冷房の切り替えが可能	4.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.5	0.25	3.9	1.00	3.5
3.1 昼光利用						3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率						3.0	0.60	3.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備	A					3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレイド対策						3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御	A				カーテン・ブラインドを設置 カーテン・ブラインド、7階には庇を設置している	3.0	1.00	4.0	1.00	
2 眩り防止対策						-	-	-	-	
3.3 照度					全般照明で200lxとしている	3.0	0.15	4.0	0.15	
3.4 照明制御					部門ごとによりモコン操作が可能な照明計画	5.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気環境						4.8	0.25	4.6	1.00	4.8
4.1 発生源対策						5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質					F☆☆☆☆の材料を採用している	5.0	1.00	5.0	1.00	
2 化学汚染物質						-	-	-	-	
4.2 換気						4.5	0.30	4.0	0.38	
1 換気量					居室35m ³ /h以上	5.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能						-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					排気口から話した取り入れ口の計画	4.0	0.50	4.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御					施設内・敷地内は全面禁煙とした計画	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.7
1 機能性						4.3	0.40	4.8	1.00	4.3
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性					医療法に適合させると共に、バリアフリー認定を受ける計画としている	3.0	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画					バリアフリー法の認定を受けた施設計画としている	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						5.0	0.30	4.5	0.40	
1 広さ感・景観					適切な階高を計画し、可能な限り高い天井高を計画している	3.0	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	-	-	-	
3 内装計画					明確なコンセプトを立案し、モックアップを用いながら色彩計画している	5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					ビニール系の床材、塗装系の壁仕上げを多く採用している。	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					SKの適正配置、モップフックの計画、適切な分別ごみスペース等	4.0	0.50	-	-	
3 清掃管理業務						-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	B					3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	B					3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	B				ステンレスダクトの採用	4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	B					3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	B					3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					熱源の二重化を図っている	4.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					節水型の機器の採用、井水の雑排水利用を図っている	4.0	0.20	-	-	
3 電気設備					非常用発電設備、無停電電源設備、電力の二重化を図っている	4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					通信の多重化、サーバー室を3階に計画	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性						3.6	0.30	2.8	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり						4.2	0.30	2.6	0.50	
1 階高のゆとり					1階2階は天井内設備の振り回しのための階高を確保	5.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ						3.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり						3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性						3.6	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性						3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性						3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性					ドライエリアを設け、更新時の搬入ルートを確認	5.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保					増設対応のスペースを確保	4.0	0.20	-	-	

CASBEE Sapporo2014v1.2

北海道大野記念病院

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	竣工段階	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)											
1 生物環境の保全と創出											
2 まちなみ・景観への配慮											
3 地域性・アメニティへの配慮											
3.1 地域性への配慮、快適性の向上											
3.2 敷地内温熱環境の向上											
LR 建築物の環境負荷低減性											
LR1 エネルギー											
1 建物外皮の熱負荷抑制											
2 自然エネルギー利用											
3 設備システムの高効率化											
3.1 集合住宅以外の評価(3a,3b)											
3.2 集合住宅の評価(3c)											
4 効率的運用											
4.1 モニタリング											
4.2 運用管理体制											
LR2 資源・マテリアル											
1 水資源保護											
1.1 節水											
1.2 雨水利用・雑排水等の利用											
2 非再生性資源の使用量削減											
2.1 材料使用量の削減											
2.2 既存建築躯体等の継続使用											
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用											
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用											
2.5 持続可能な森林から産出された木材											
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み											
3 汚染物質含有材料の使用回避											
3.1 有害物質を含まない材料の使用											
3.2 フロン・ハロンの回避											
3.3 冷媒											
LR3 敷地外環境											
1 地球温暖化への配慮											
2 地域環境への配慮											
2.1 大気汚染防止											
2.2 温熱環境悪化の改善											
2.3 地域インフラへの負荷抑制											
3 周辺環境への配慮											
3.1 騒音・振動・悪臭の防止											
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制											
3.3 光害の抑制											